

1級DCプランナー(企業年金総合プランナー)資格更新研修会
受講レポート(2018年10月20日)

登録番号

氏名

※本日の研修会における3つの講義について、講義のポイントならびに受講した感想を以下に簡潔にご記入ください。記入内容によっては、資格を更新できない場合がありますのでご注意ください。

◆講義I: 企業年金等の現状と課題

《講義のポイント》

日本の長期的な人口動態は引き続き急速な人口減少が進み、公的年金所得代替率は30%前後を維持し低下が予想されている。高齢者の老後生活費の多くは公的年金に依存している。一方公的年金の財政状況は増悪から厳しく、一刻も早く公的年金を補完する私的年金(企業型DC新給付IDC等)の充実が必要。特に中小企業向けの普及拡大が望まれるに中堅・大企業・ライフコースの多様化への対応もいそがれる。

この問題は既に中期的期間に亘り議論された課題であるにもかかわらず、他国に比し日本の少子高齢化が極めて速いペースで進展しているため遅くして進んではいけない。今後の世代のために早急に官民あげ、マスコミの協働による議論のバトルを後一歩的向にもつて必要感を痛感する。議論のため議論の準備は中期的に始まっていると考える。

◆講義Ⅱ：企業年金制度統合に伴う課題と対応

《講義のポイント》

企業統合に伴う企業年金制度の統合においては人事制度を基にするため、報酬や個々の人生設計、さらには当該制度の持続可能性の点から、グローバル、さらにはフェーズ相違がある。関係者も多く各ステークホルダーの立場も異なり非常に苦労の多い案件である。困難な案件は的確な議論・説明を行い対応していくことが重要である。

《受講した感想》

個人的には信託銀行勤務、営業部時代に私自身の会社統合に伴う年金制度統合を経験したが、説明担当者が多岐に亘り、知識レベルの格差があり非常に骨の折れる大変な案件でした。その際の支えとなったのは年金制度の重要性、参加者のための年金制度の現実な思いでした。本日の説明もそれが伝わりに来る内容でした。

◆講義Ⅲ：公的年金の現状と課題

《講義のポイント》

~~財政状況~~を基本とした
公的年金はあくまで社会的な観点から、長期的財政の持続の観点から、その持続可能性を確保し、安定的運営が最も重要な点である。多面的に、かつ数値を以て説明し説明した。公的年金の運営の視座に立つことが、新しい視座での知識修得に役立ちました。

《受講した感想》

公的年金の財政状況も正確な制度運営と数値で語る人は少ないと感じます。議論の中でその論議の中で、理解不足が自に感じます。中々本日は、わかりやすく話をしたことが、とても説明いただいたことに感謝します。今後の業務の糧にさせていただきます。
～ご記入のうえ、受付にご提出ください～本日はありがとうございました。